

名古屋モビリティショー2023で自動車盗難防止を呼びかけ

～盗難車と盗難対策機器を展示し、複数の防犯対策の必要性を訴え～

愛知県自動車盗難等防止協議会(会長：小林 剛・NTP 名古屋トヨペット株式会社代表取締役社長)では、愛知県警察本部協力のもと、11月23日(木)～26日(日)にポートメッセ名古屋で開催された名古屋モビリティショー2023にブース出展しました。

出展ブースでは、実際に愛知県内で被害にあった盗難車や盗難対策機器を展示し、高級車が数分で悲惨な状態になってしまうことを見てもらい、危機感を持ってもらうとともに、「自動車盗難防止ガイド 2023 愛知県版」を配布し、愛知県が自動車盗難認知件数全国ワースト1であることから、純正セキュリティに加えて、展示のような盗難対策機器でも備える必要があることを呼びかけました。

実際の盗難車を見た来場者からは、「キーもないのに数分で盗難されるなんて怖い」「カーナビの盗難にあったことがあり、目をつけられているかもしれない。対策機器は思ったより安価なので、購入して対策したい。」といった声がありました。

また、同ブースでは、タブレットを用いた自動車盗難防止ゲームのコーナーや警察官の制服を着て記念撮影をするコーナーも設置したため、盗難車を興味津々で覗くカーユーザーや写真撮影をするカーマニアとともに、親子連れでも賑わいました。

自動車盗難は全国的には減少傾向であるものの、愛知県内では2021年から増加傾向にあり、2022年は884件(前年比+139件)となりました。今回のような自動車ユーザーへの直接的な啓発が愛知県内の自動車盗難の減少に寄与することが期待されます。



<実際の盗難車を展示>



<盗難対策機器の展示>



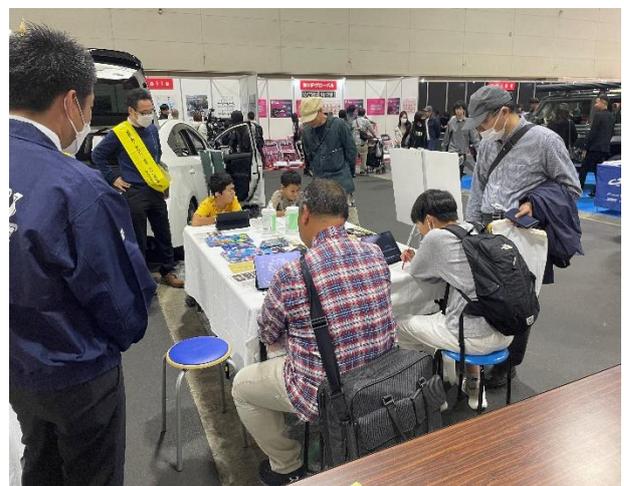
＜来場者で賑わうブース＞



＜来場者に盗難車の惨状を説明＞



＜記念撮影コーナーの様子＞



＜自動車盗難防止ゲームコーナーの様子＞

【愛知県自動車盗難等防止協議会】

自動車盗難等防止活動に取り組み、安全で住みよい地域社会の実現に寄与することを目的として22団体・機関で構成されている団体であり、当支部が事務局として運営しています。愛知県内の自動車盗難の撲滅に向けて、今後もこうした取組みを進めていきます。